

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横須賀市神明町計画	階数	地上1F
建設地	神奈川県横須賀市神明町58-7の一部	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条指定区域	平均居住人員	1,300 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2025年8月1日
敷地面積	15,448 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社ケークリエイト一級建築士事務所
建築面積	5,274 m <sup>2</sup>	確認日	2025年8月1日
延床面積	5,085 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社ケークリエイト一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (276 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 82% (226 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 82% (226 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 82% (226 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.0

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 建築物については、「建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律」の基準を順守した計画とし、環境への配慮を行っている。 また、外構においては既存樹木を極力残置し、周辺環境と調和すべく緑豊かな計画を行っている。		<b>その他</b> -
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど空気質環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 天井高を高くするなど心理性・快適性に配慮している。壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 立地特性の把握、敷地内の既存樹木を保存、外構緑化指数20%以上を確保するなど、生物環境の保全と創出に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ノンフロン断熱材を採用するなど汚染物質含有材料の使用を回避している。	<b>LR3 敷地外環境</b> LCCO <sub>2</sub> 排出量を参照値より抑制している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される